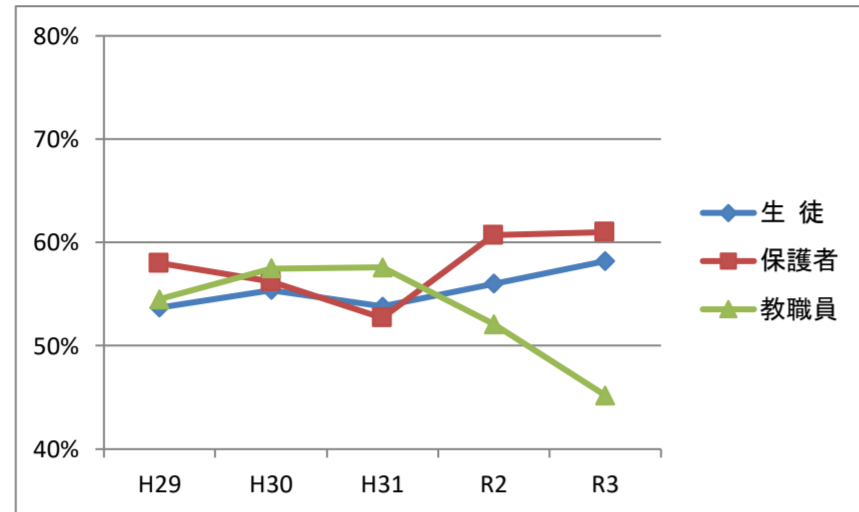


1. 令和3年度 学校教育自己診断 集計結果

対象	生徒					保護者					教職員				
	H29	H30	H31	R2	R3	H29	H30	H31	R2	R3	H29	H30	H31	R2	R3
回答数	421	425	402	447	354	126	99	284	208	219	44	69	49	57	45
総数	568	539	531	575	575	568	539	531	575	575	67	74	61	59	58
回答率(%)	74.1%	78.8%	75.7%	77.7%	61.6%	22.2%	18.4%	53.5%	36.2%	38.1%	65.7%	93.2%	80.3%	96.6%	77.6%

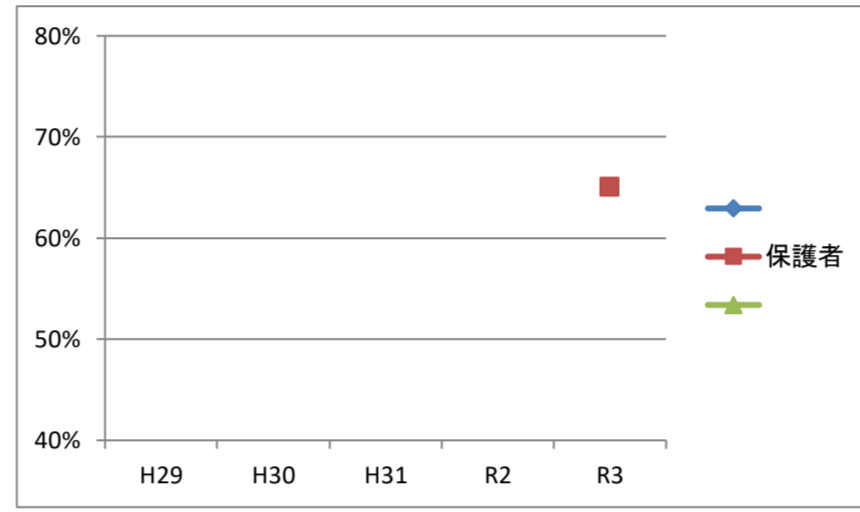
項目1  
全体  
1. 生徒 学校に行くのが楽しい。  
1. 保護者 子どもは学校に行くのを楽しみにしている。  
1. 教職員 生徒は学校生活に満足している。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	53.7%	55.4%	53.8%	56.0%	58.2%
保護者	58.0%	56.2%	52.7%	60.7%	61.0%
教職員	54.5%	57.5%	57.6%	52.1%	45.2%



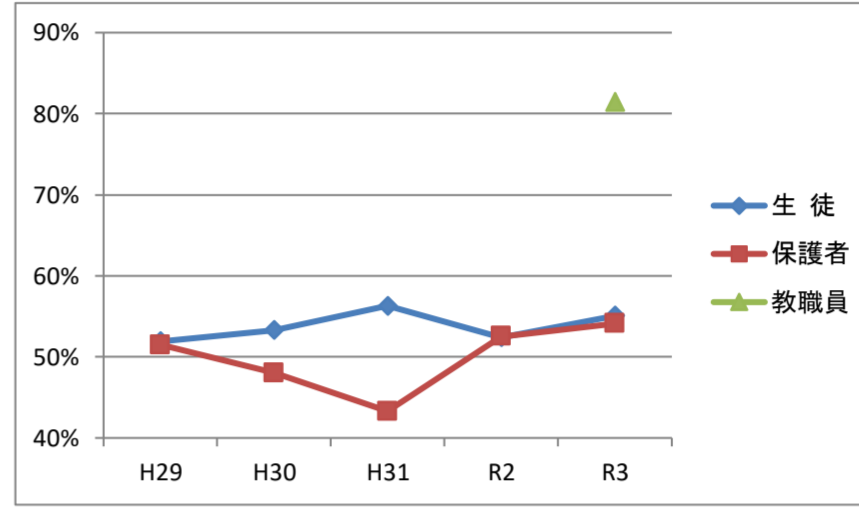
項目2  
全体  
2. 保護者 先生は、子どもを理解している。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
保護者					65.0%



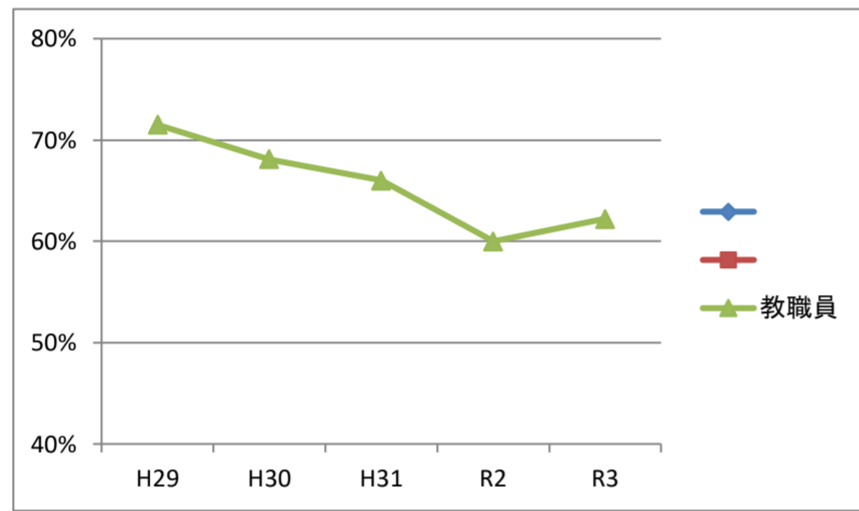
項目3  
教務部  
2. 生徒 授業はわかりやすく楽しい。  
3. 保護者 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。  
2. 教職員 生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について、工夫している。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	51.9%	53.3%	56.3%	52.4%	55.1%
保護者	51.5%	48.0%	43.3%	52.5%	54.1%
教職員					81.5%



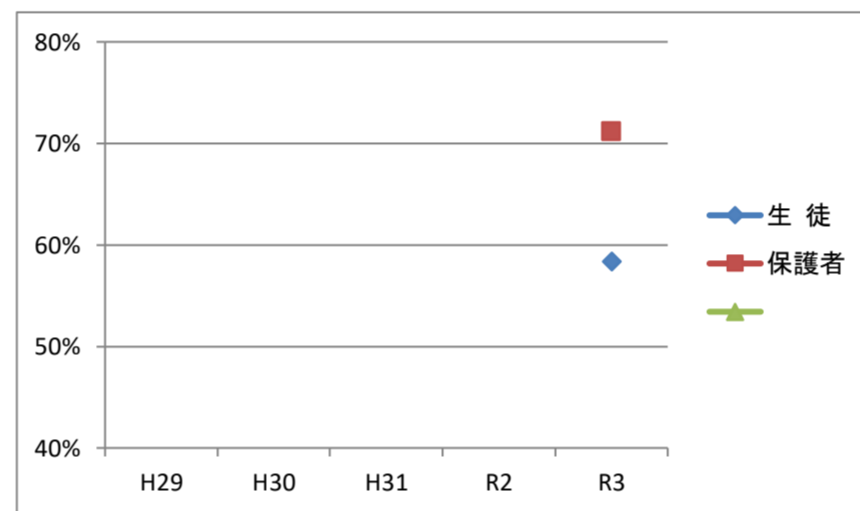
項目4  
教務部  
3. 教職員 教員の間で、授業方法などについて検討する機会を積極的にもっている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
教職員	71.5%	68.1%	66.0%	60.0%	62.2%



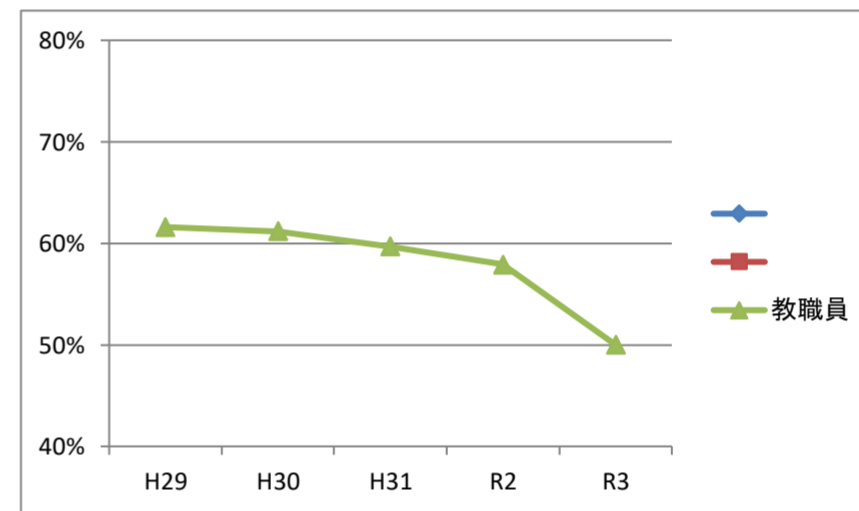
項目5  
教務部  
3. 生徒 生徒が努力したことをほめてくれる。  
4. 保護者 先生は子どもの頑張りを理解してくれる。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒					58.4%
保護者					71.1%



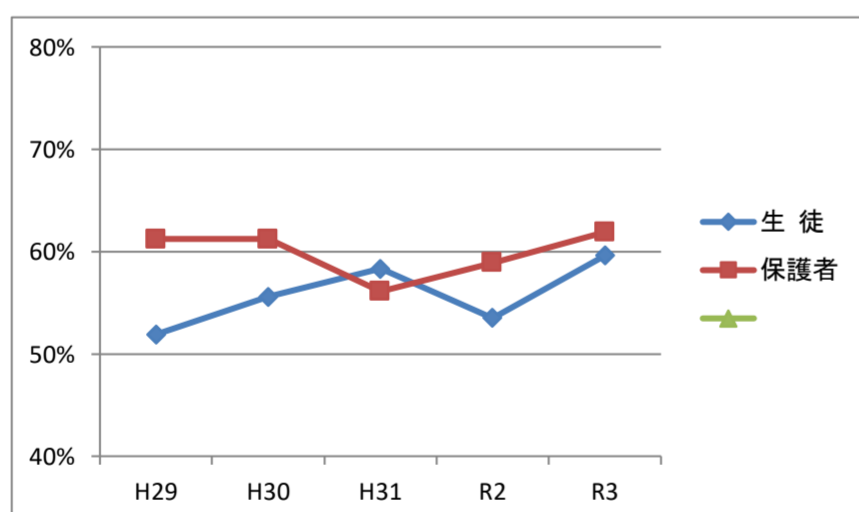
項目6  
教務部  
4. 教職員 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の評価に生かしている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
教職員	61.6%	61.2%	59.7%	57.9%	50.0%



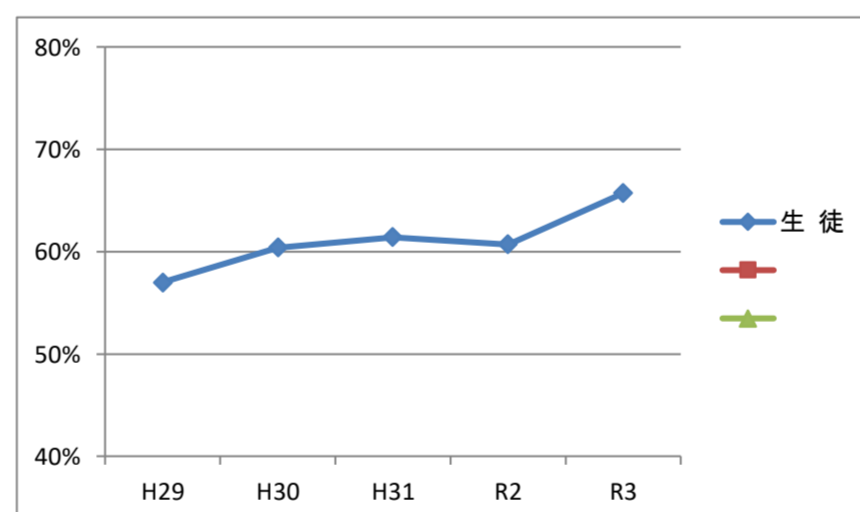
項目7  
教務部  
4. 生徒 セットや選択科目は、自分の学びたいことが準備されている。  
5. 保護者 選択授業は、子どもの興味や関心、進路希望にあっている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	51.9%	55.6%	58.3%	53.5%	59.6%
保護者	61.2%	61.2%	56.1%	58.9%	61.9%



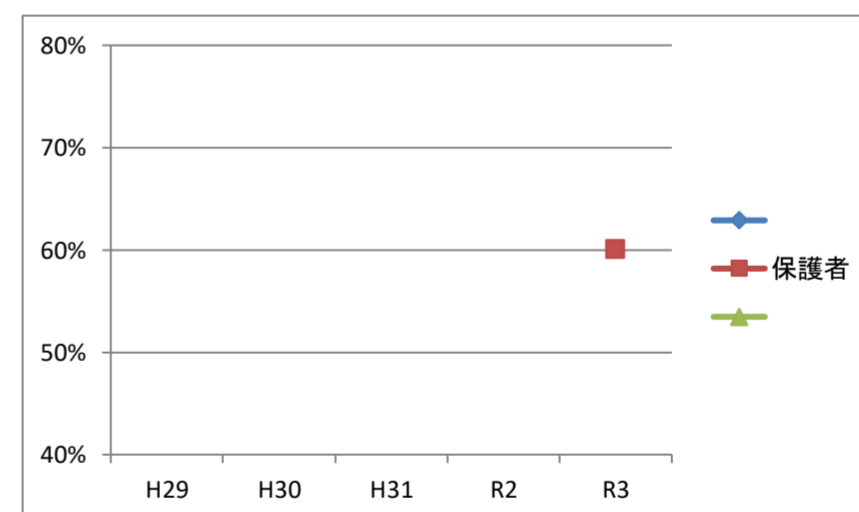
項目8  
進路指導部  
5. 生徒 将来の進路や生活について、考えることがある。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	57.0%	60.4%	61.4%	60.7%	65.7%



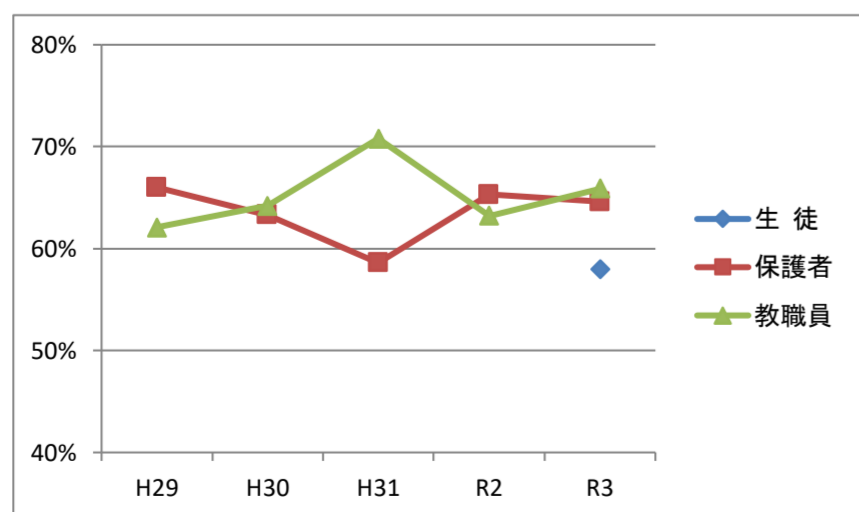
項目9  
進路指導部  
6. 保護者 学校は、進路に関して、家庭への連絡や情報提供を行っている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
保護者					60.0%



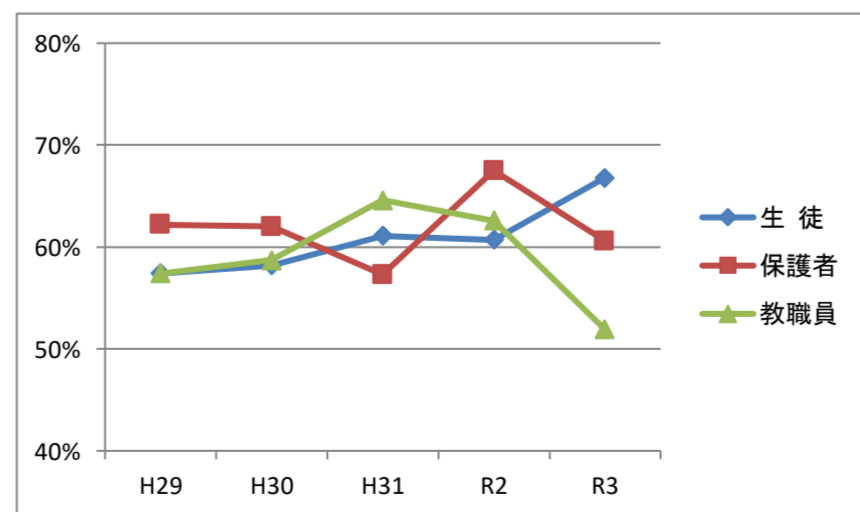
項目10  
進路指導部  
6. 生徒 先生の進路指導はわかりやすい。学校は、将来の進路や職業について適切な指導を行っている。  
7. 保護者 生徒一人ひとりが、興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。  
5. 教職員

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	57.4%	58.2%	61.1%	60.7%	66.8%
保護者	62.2%	62.0%	57.3%	67.5%	60.6%
教職員	57.4%	58.7%	64.6%	62.6%	51.9%



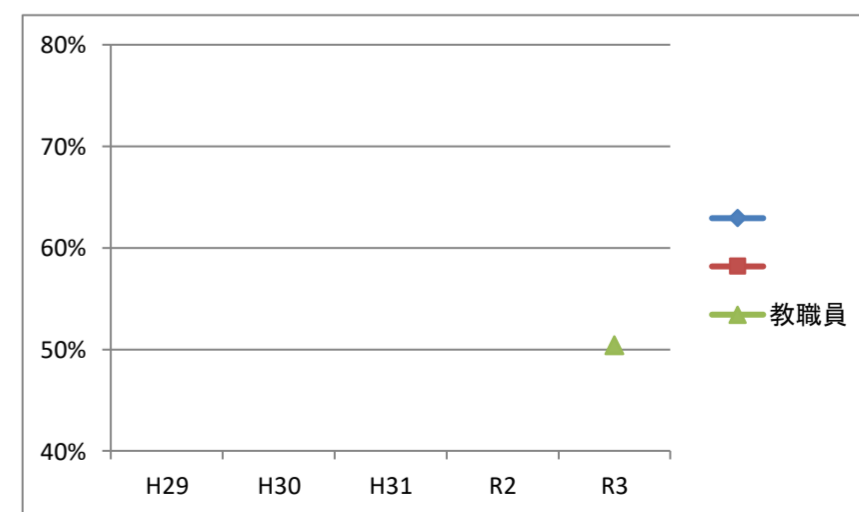
項目11  
生徒指導部  
7. 生徒 命の大切さや社会のルールについて、学んでいる。  
8. 保護者 学校で命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会があると感じている。  
6. 教職員 命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会を作っている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	57.4%	58.2%	61.1%	60.7%	66.8%
保護者	62.2%	62.0%	57.3%	67.5%	60.6%
教職員	57.4%	58.7%	64.6%	62.6%	51.9%



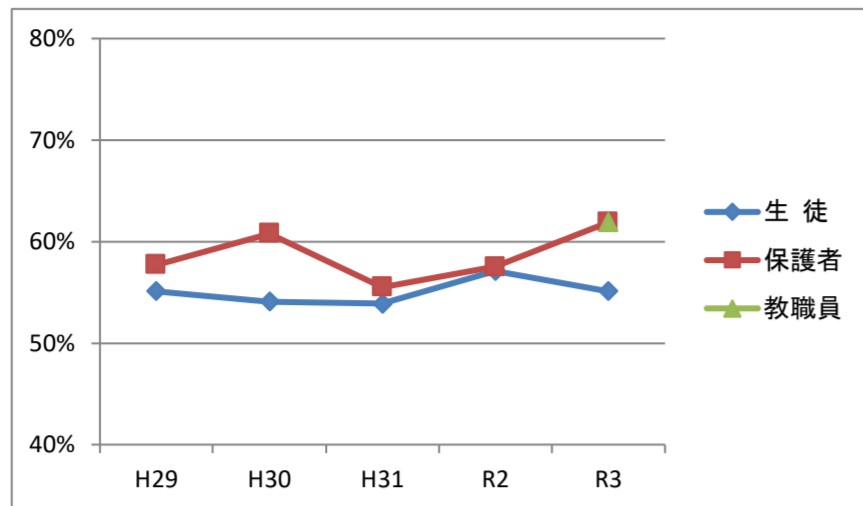
項目12  
生徒指導部  
7. 教職員 校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、生徒や教職員間で話し合う機会がある。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
教職員					50.4%



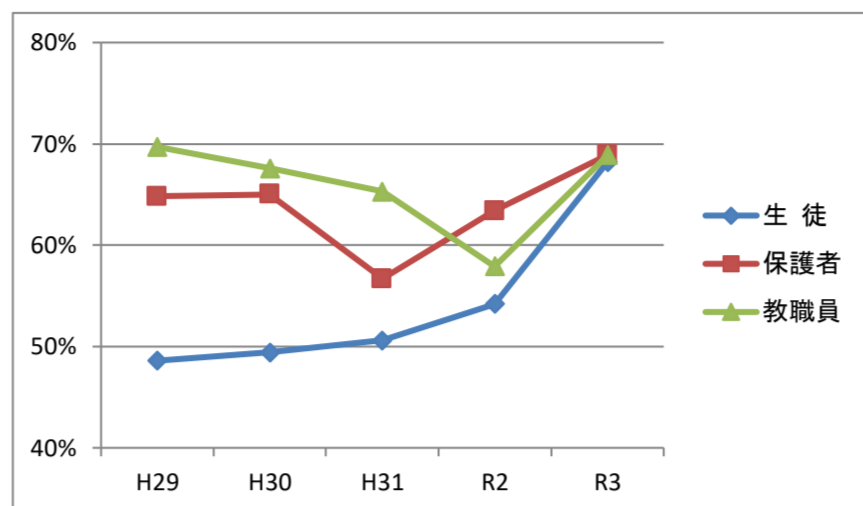
項目13  
生徒指導部  
8. 生徒 学校生活について、先生の指導は納得できる。  
9. 保護者 学校の生徒指導の方針に共感できる。  
8. 教職員 この学校では、生徒・保護者に対し、納得感のある生徒指導を行っている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	55.1%	54.1%	53.9%	57.1%	55.1%
保護者	57.7%	60.8%	55.5%	57.5%	61.9%
教職員					61.9%



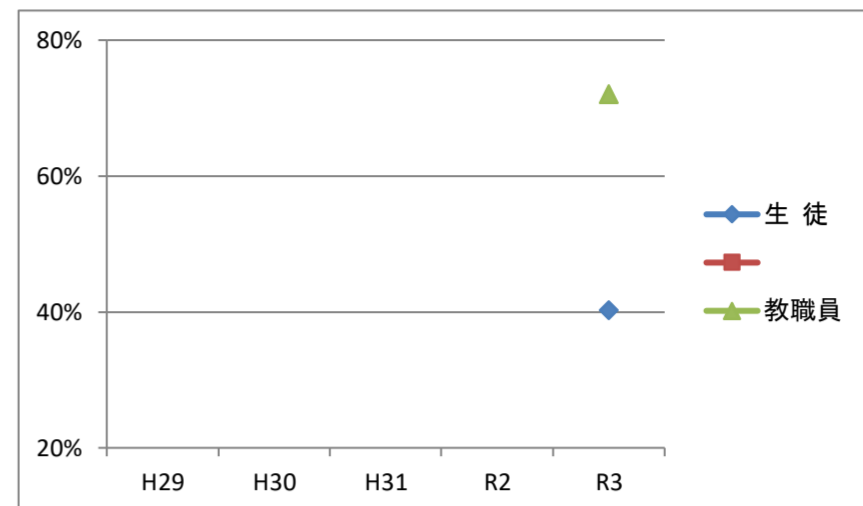
項目14  
生徒会  
9. 生徒 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は楽しい。  
10. 保護者 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は楽しそうに参加している。  
9. 教職員 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は生徒にとって魅力のあるものになっている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	48.6%	49.4%	50.6%	54.2%	68.2%
保護者	64.8%	65.0%	56.7%	63.4%	68.9%
教職員	69.7%	67.6%	65.3%	57.9%	68.9%



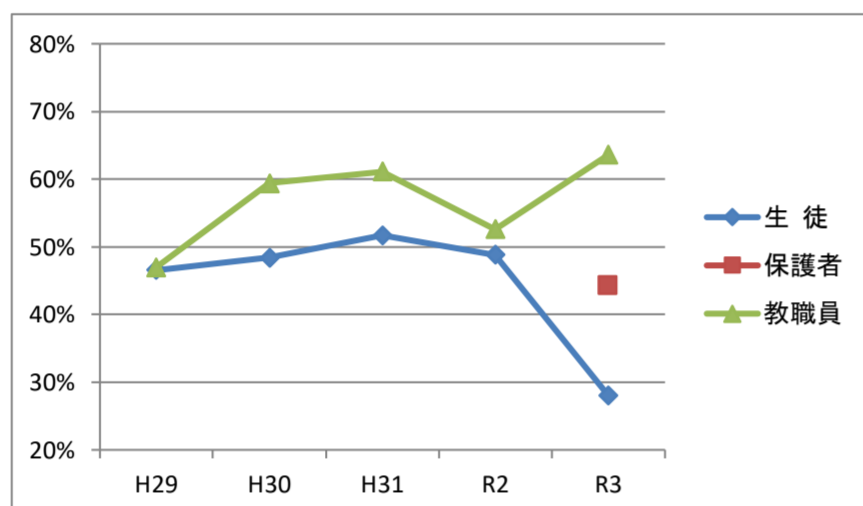
項目15  
生徒会  
10. 生徒 クラブ・校内イベント(国際交流、学校説明会など)や生徒会に参加したことがある。  
10. 教職員 生徒との対話的な活動に力を入れている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒					40.3%
保護者					
教職員					72.0%



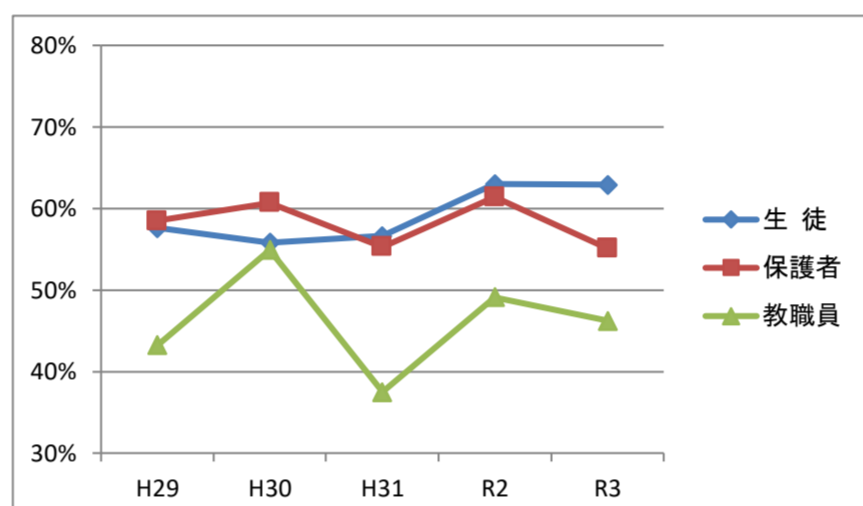
項目16  
生徒会  
11. 生徒 学校でボランティア活動や体験活動などを通して、校外の人と一緒にいることがある。  
11. 保護者 学校でボランティア活動や体験活動などを通して、子どもが校外の人とかかわる機会がある。  
11. 教職員 学校はボランティア活動や体験活動など、地域とかかわる機会を作っている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	46.6%	48.4%	51.7%	48.8%	28.0%
保護者					44.2%
教職員	47.0%	59.4%	61.1%	52.6%	63.6%



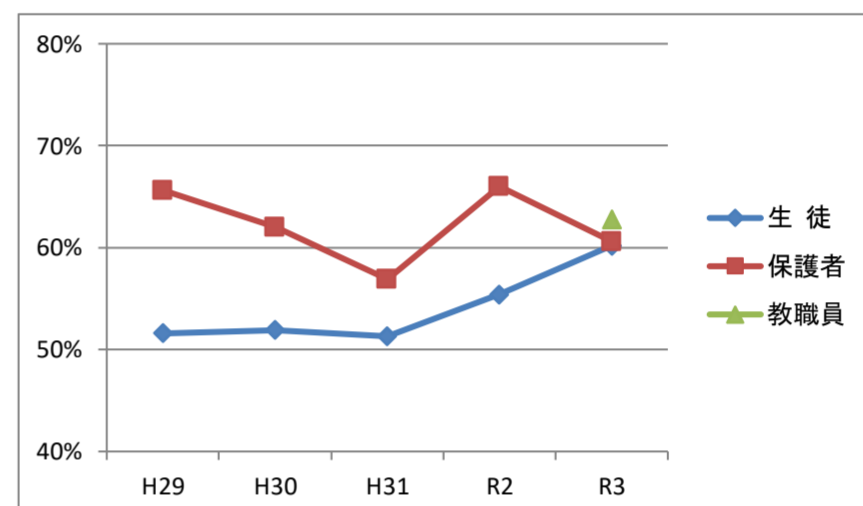
項目17  
総務部  
12. 生徒 学校での災害時に、どうすればよいかを知っている。  
12. 保護者 学校での災害時に、どうすればよいかを子どもは知っている。  
12. 教職員 学校での災害時の行動を、生徒に周知している。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	57.6%	55.8%	56.6%	63.0%	62.9%
保護者	58.5%	60.7%	55.3%	61.4%	55.1%
教職員	43.2%	54.9%	37.5%	49.1%	46.2%



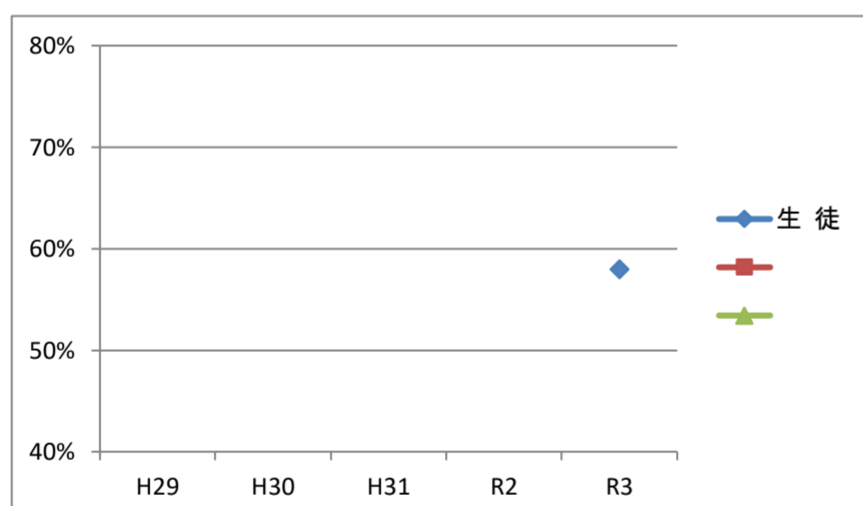
項目18  
総務部  
13. 生徒 先生は生徒の健康状態に気を配っている。  
13. 保護者 先生は子どもの健康(食事・運動・睡眠等の体調)を気づかってくれる。  
13. 教職員 生徒の健康状態について把握できている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	51.6%	51.9%	51.3%	55.4%	60.2%
保護者	65.6%	62.0%	56.9%	66.0%	60.6%
教職員					62.8%



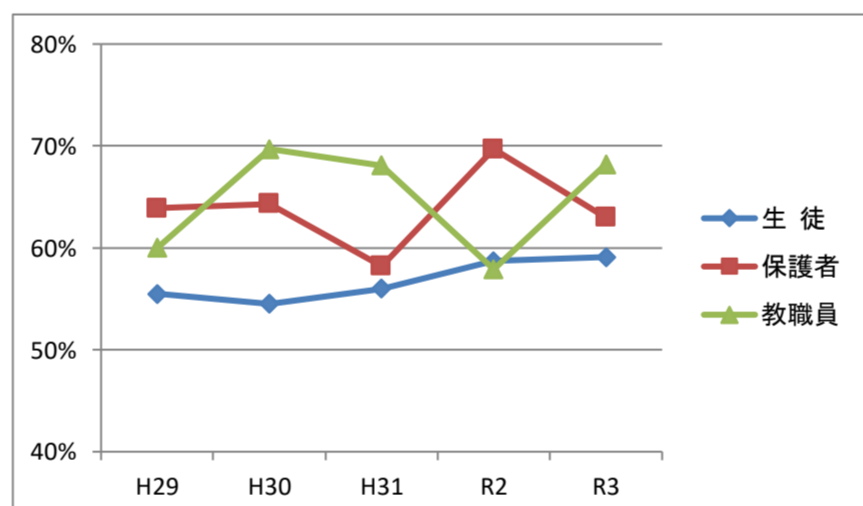
項目19  
教育相談  
14. 生徒 学校では、安心して生活ができる。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒					58.0%
保護者					
教職員					



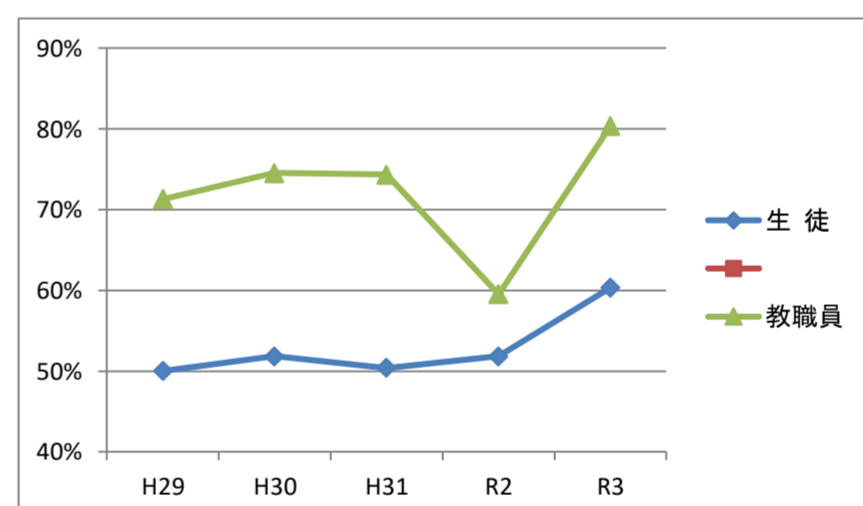
項目20  
教育相談  
15. 生徒 いじめ等について困っていることがあれば、先生は寄り添って対応してくれる。  
14. 保護者 学校はいじめ等について、子どもの困っていることに寄り添って対応してくれる。  
14. 教職員 いじめ等(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	55.5%	54.5%	56.0%	58.7%	59.1%
保護者	63.9%	64.3%	58.2%	69.7%	63.0%
教職員	60.0%	69.7%	68.1%	57.9%	68.2%



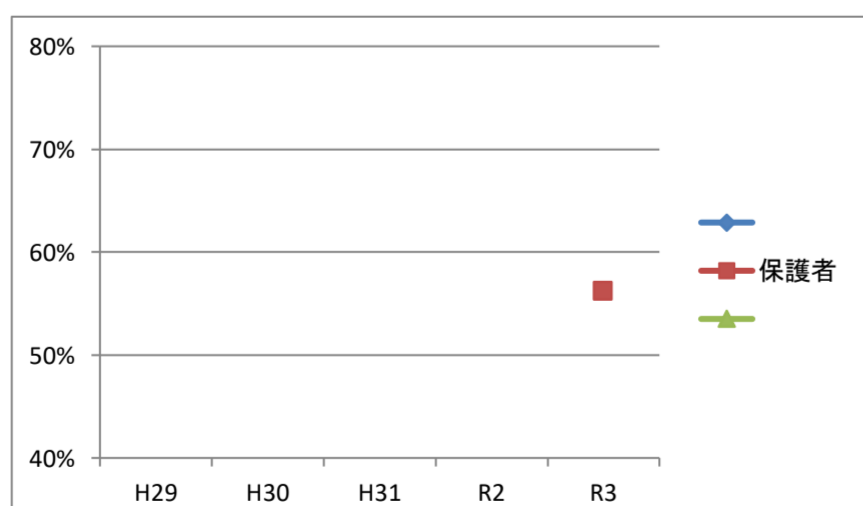
項目21  
教育相談  
16. 生徒 担任の先生以外にも、気軽に相談できる先生がいる。  
15. 教職員 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒	50.0%	51.8%	50.4%	51.8%	60.3%
保護者					
教職員	71.3%	74.5%	74.3%	59.5%	80.3%



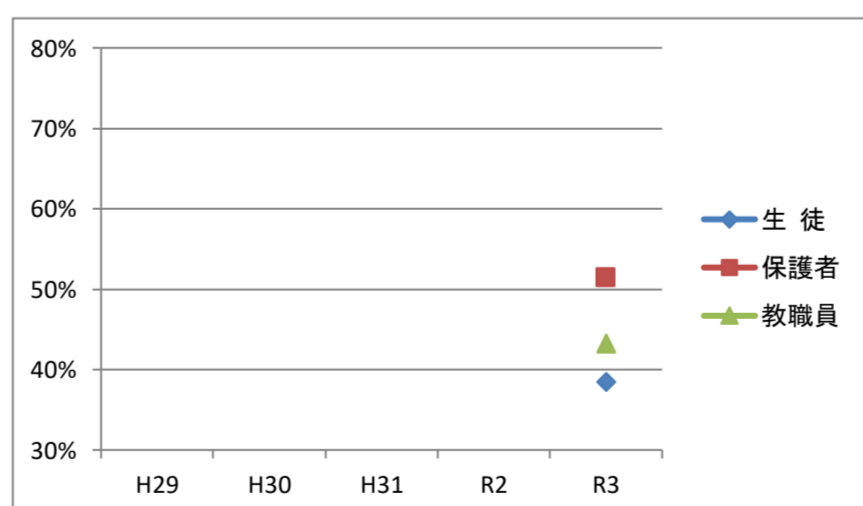
項目22  
総務部(PTA)  
15. 保護者 この学校の授業参観や学校行事に、関心がある。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
保護者					56.2%
生徒					
教職員					



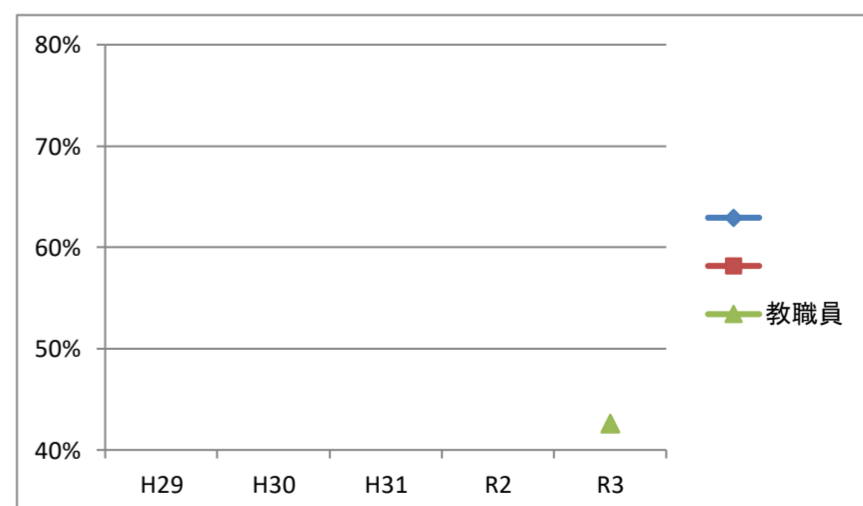
項目23  
ICT  
17. 生徒 学校で配付されたクロームブックを授業などで活用している。  
16. 保護者 家庭において、携帯電話やクロームブック使用に関するルールを話し合っている。  
16. 教職員 学校で配付されたクロームブックを授業などで活用する機会を作っている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒					38.5%
保護者					51.4%
教職員					43.2%



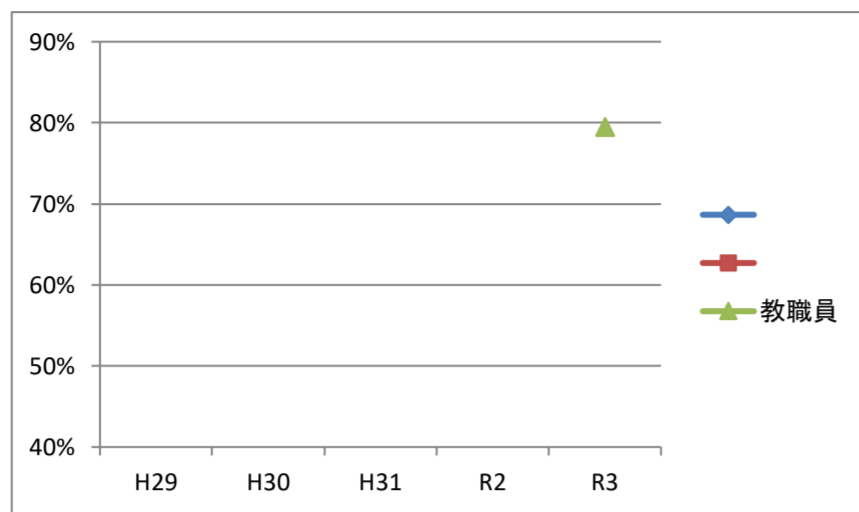
項目24  
ICT  
17. 教職員 この学校は、情報リテラシーや情報モラルを高める教育に取り組んでいる。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
教職員					42.6%
生徒					
保護者					



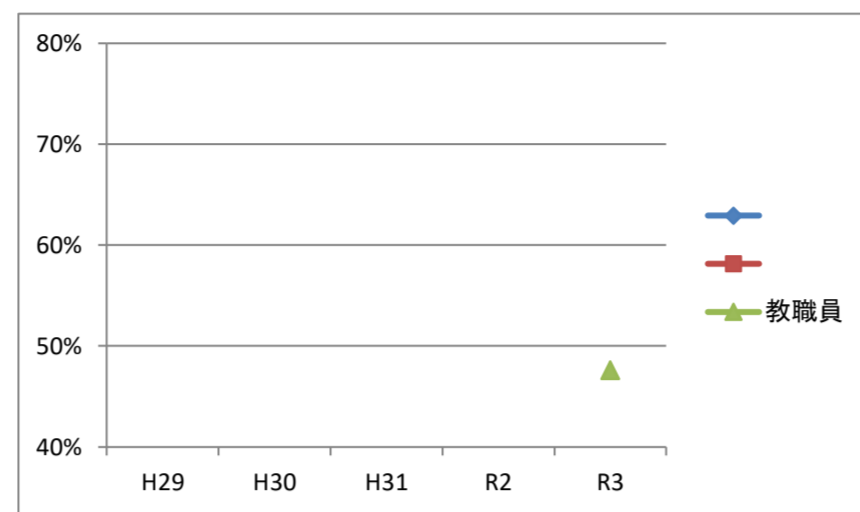
項目25	
全体・服務	18. 教職員 生徒の個人情報を適切に管理している。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
教職員					79.5%



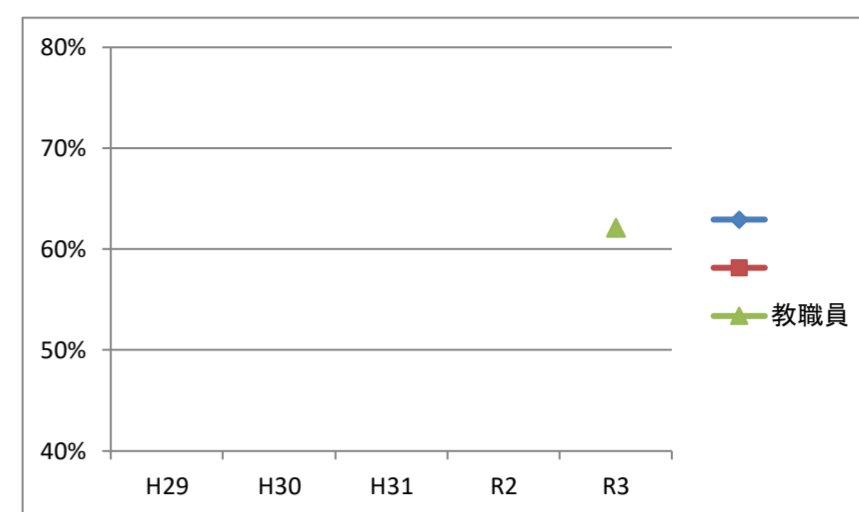
項目26	
全体・服務	19. 教職員 学校から保護者あてに発行する文書について、決裁するシステムが生かされている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
教職員					47.6%



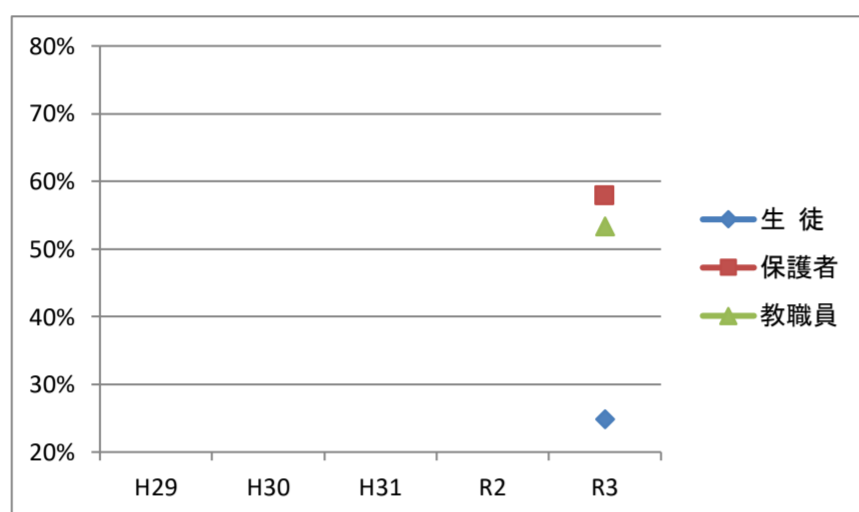
項目27	
地域連携	20. 教職員 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
教職員					62.1%



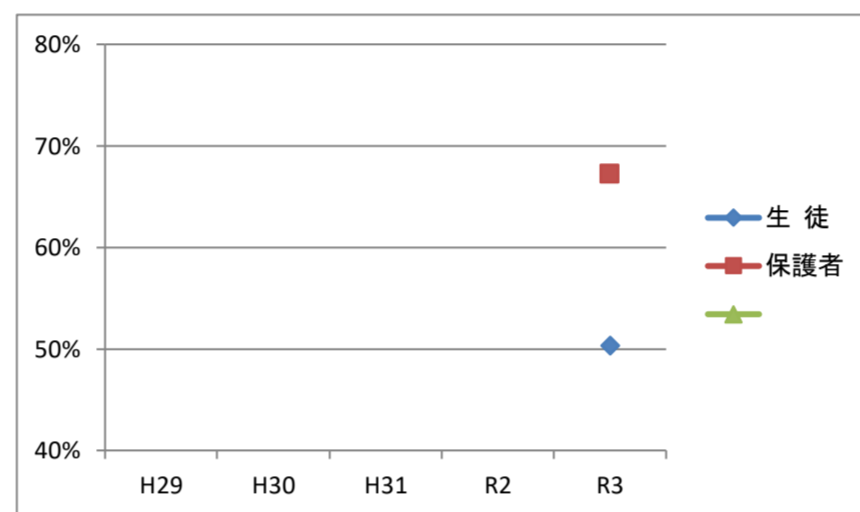
項目28	18. 生徒 学校のHPを見ることが多い。 17. 保護者 学校のHPは、いろいろな情報がわかりやすい。 21. 教職員 情報提供の手段として、学校のHPが組織的に活用されている。
------	--

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒					24.9%
保護者					57.8%
教職員					53.3%



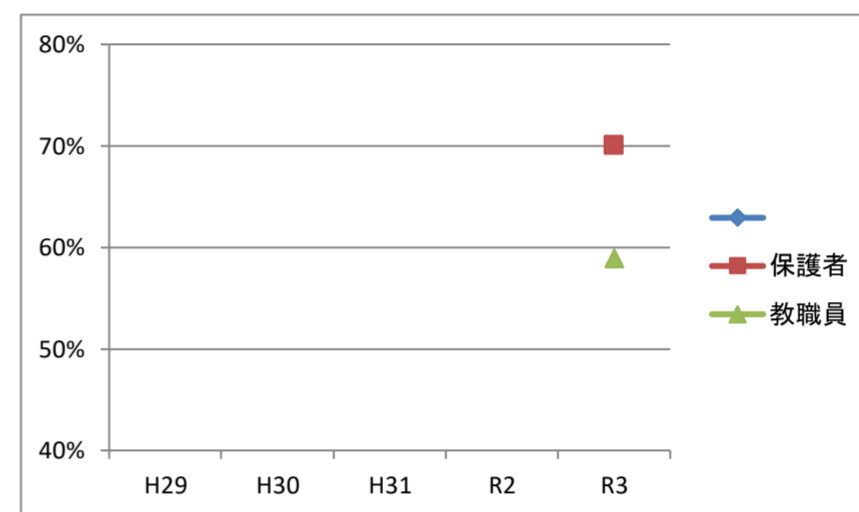
項目29	19. 生徒 家の人などに、学校のことについてよく話す。 18. 保護者 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は、適切である。
------	---

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒					50.3%
保護者					67.2%



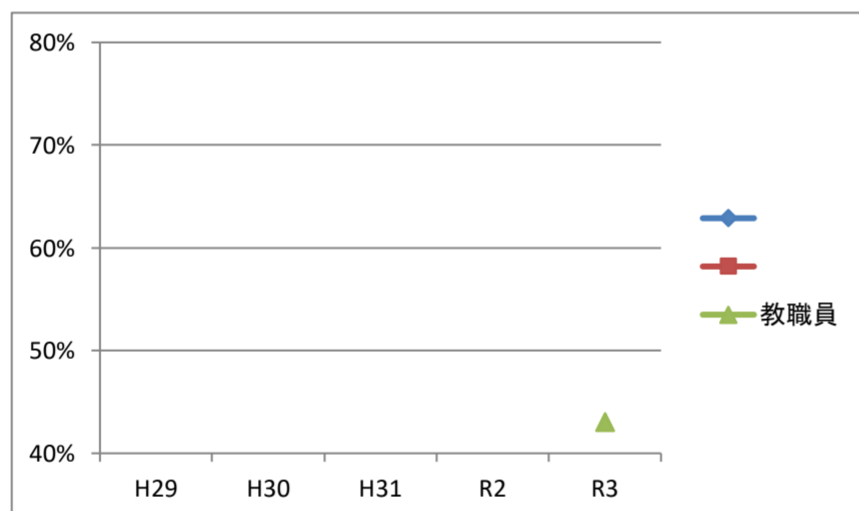
項目30	19. 保護者 学校は保護者の相談に適切に対応してくれる。 22. 教職員 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の要望等に応えている。
------	---

年度	H29	H30	H31	R2	R3
保護者					70.0%
教職員					58.9%



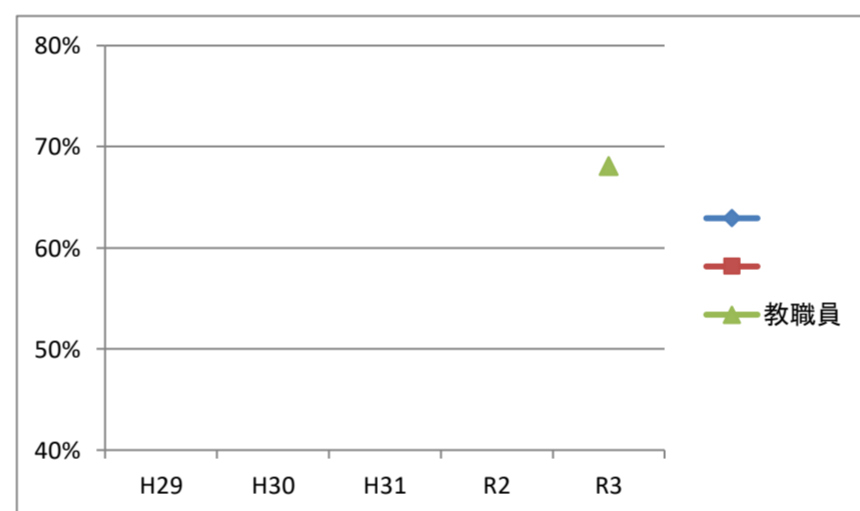
項目31	
全体	23. 教職員 各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
教職員					43.0%



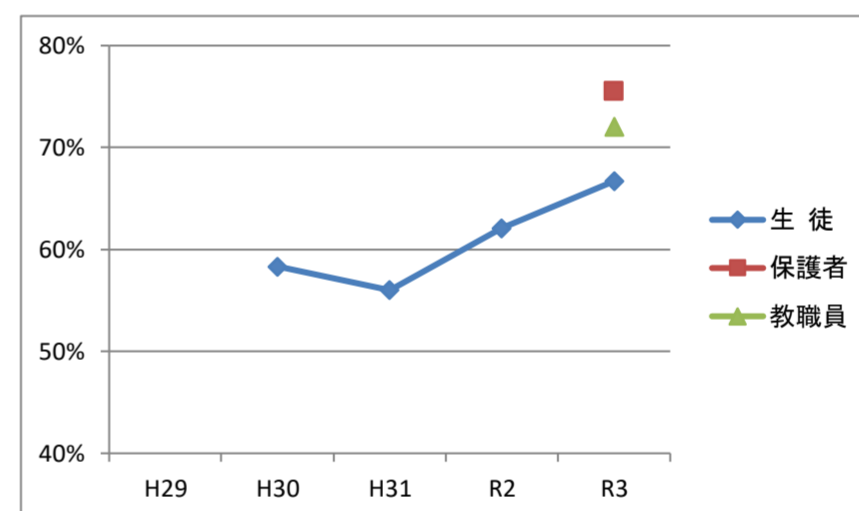
項目32	
全体	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。

年度	H29	H30	H31	R2	R3
教職員					68.1%



項目33	20. 生徒 エンパワメントスクールに入学してよかった。 20. 保護者 エンパワメントスクールに入学させてよかった。 25. 教職員 エンパワメントスクールの趣旨を理解している。
------	--

年度	H29	H30	H31	R2	R3
生徒		58.3%	56.0%	62.1%	66.7%
保護者					75.5%
教職員					72.0%



## 2. 令和3年度 学校教育自己診断 分析及び考察

項目1. について 「学校に行くことが楽しいか」について、【生徒】・【保護者】は微増ではあるが、【教職員】は下降傾向。 クリエイティブスクール時代に比べ、おとなしい生徒が増加したことが要因とも考えられる。
項目8. について 「将来の進路や生活について、考えることがある」では、CC(キャリアコーディネーター)の活用を2学年にも拡大。 より早い年代において、将来を考える機会を作っている。
項目14. について 「学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は楽しい」について、コロナ禍の折、行事の中止が続いた。 文化祭は密を避けるよう企画を見直して実施。体育祭も年間行事を再検討して実施するなどした。
項目16. について 「学校でボランティア活動や体験活動などを通して、校外の人と一緒にすることがある」では、コロナ禍により、校外の方々との交流の機会を設けることができなかった。
項目18. について 「先生は生徒の健康状態に気を配っている」については、担任をはじめとして生徒の健康観察を行っている。また、養護教諭や教育相談委員会を通じた対応も行っている。
項目20. について 「いじめ等について困っていることがあれば、先生は寄り添って対応してくれる」について、【生徒】は微増である。 「いじめが許されない行為である」旨をいろいろな機会を通して伝えていくことが必要である。
項目21. について 「担任の先生以外にも、気軽に相談できる先生がいる」では、【生徒】も増加傾向ではあるがまだまだ低い値である。 気軽にすべての教職員と話し合える校内雰囲気醸成に取り組む必要がある。
項目33. について 「エンパワメントスクールに入学してよかった」については、【生徒】・【保護者】の70%を超える評価を得ている。まだまだ教育活動を検討し続けさらなる評価をめざしていく。